

# 店は生き残れるか

ポストECのニューリテールを探る

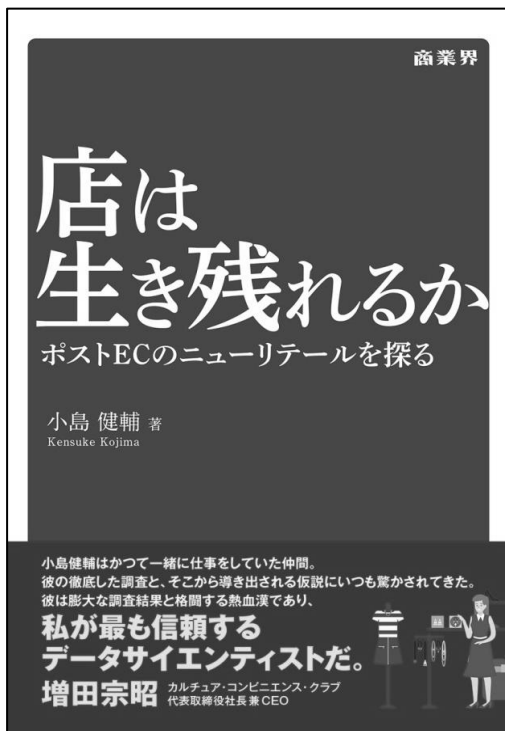
小島健輔著

四六判160頁

ISBN978-4-7855-0538-7

定価1512円税込

**2018年、小売業者必読の問題作！**  
**AI、無人店舗、スマホ決済、フィンテック、物流危機・・・**  
**激変する小売流通業の指針を示す！**



## 【主な内容】

- 第一章 ECの拡大が招く閉店ラッシュ
- 第二章 オムニチャネル戦略は反撃の決定打となるのか
- 第三章 ECを支えるプラットフォーム
- 第四章 ラストワンマイルの担い手
- 第五章 販物一体が店舗販売を自滅させる
- 第六章 ポストECのニューリテール
- 第七章 省在庫・無在庫のショールームストア革命

プロフィール 小島健輔(こじま けんすけ)

慶応義塾大学卒。大手婦人服専門店チェーンに勤務した後、(株)小島ファッションマーケティングを設立。ファッションビジネスの経営実務研究会SPACを主宰して業界の経営革新にあたる一方、業界紙誌やネットメディアにも寄稿。2016年には経済産業省のアパレル・サプライチェーン研究会委員も務めた。マーケティング&リテイリング～サプライチェーン&ロジスティクスをデジタル/アナログの両面から一貫して捉え、中長期視点の経営戦略と現場の技術革新を提言している。

(書店名)

## 店は生き残れるか

ポストECのニューリテールを探る

小島健輔著

定価1512円 本体価格1400円

発売 2018年7月1日

四六判/160頁 ISBN 978-4-7855-0538-7 C0063

商業界刊

(取次番線印)

冊

ご注文はフリーダイヤル 0120-463-346